



MURA PAINT

ムラペイント

MURA PAINTの施工方法

きれいに仕上げるために、最初にお読みください

※MURA PAINT 下塗り、MURA PAINT 上塗りは必ず同一カラーをお使いください。

◆塗ることのできる下地(内壁・天井専用です)

- ビニール壁紙 ○古い塗り壁(砂壁・ジュラク壁・セシイ壁・しっくい)
- コンクリート ○モルタル △石こうボード △合板

※石こうボード、合板等でジョイント処理をした場合、パテ処理箇所の色差を隠すためMURA PAINT 下塗りが余分に必要です。詳細はお問い合わせください。

◆塗ることのできない下地

- ×布壁紙、紙壁紙、ガラス、プラスチック、各種金属、タイルなど
- ×外壁、床、お風呂場など
- ×高温になったり、炎が発生する場所

自宅の壁に塗れるかな？と思ったら

フリーダイヤル

0120-64-2421 にご連絡ください。(平日8:00~17:00)

使用する材料と道具

材料

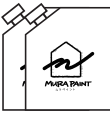
・アクドメール(下地処理剤)・MURA PAINT 下塗り・MURA PAINT 上塗り

道具

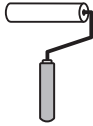
・中毛ローラー・ハケ・コテバケ・スムーディ・塗料受け皿orバケツ
・マスキングテープ



アクドメール
(下地処理剤)



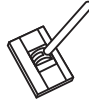
MURA PAINT
下塗り・上塗り



中毛ローラー



ハケ



コテバケ



スムーディ



塗料受け皿
あるいはバケツ



マスキングテープ

施工の流れ

1. 養生

2. 下地処理(施工道具:中毛ローラー、ハケ)

アクドメールを塗った後、完全に乾燥させてください(24時間以上)

3. MURA PAINT 下塗り(施工道具:中毛ローラー、ハケ)

MURA PAINT 下塗りを塗った後、3時間以上乾燥させてください

4. MURA PAINT 上塗り(施工道具:コテバケ、ハケ)

コテバケを使い、ランダムに塗っていきます

5. 仕上げ(施工道具:スムーディ)

MURA PAINT 上塗りを塗った後、すぐにスムーディを使ってランダムになでて仕上げます

6. 乾燥

24時間以上乾燥させてください

施工方法

養生をはじめましょう

塗ってはいけないところに材料が付かないように、マスキングテープを使用して保護をします。仕上がりを左右する大切な作業です。早く塗りたい気持ちをグッと抑えて、ていねいに保護しましょう。(塗ってはいけないところを保護することを「養生」と言います)まず、養生する(テープを貼り付ける)場所のホコリなどを雑巾などで拭き取ります。ホコリなどがあるとテープが付きません。拭きとったところが乾いてから養生作業に入りましょう。

養生の
ポイント

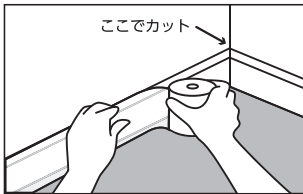
端々までていねいに！

トイレ・ドアは使用可能のように！

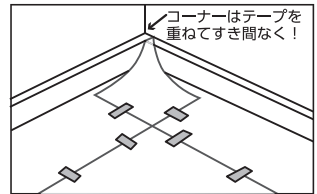
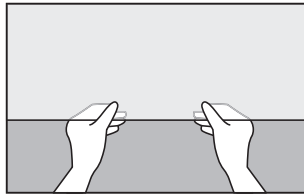
細かなところはテープを使って！

◆マスカーを使った養生

マスカーはテープとビニールシートが一体になっていて、**ドアや床面などの広い部分**の養生に便利です。

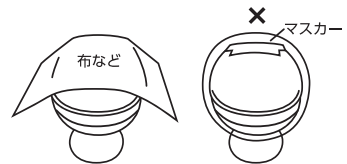


養生部分にテープを貼り、端のところでテープとシートを一緒にカットします。



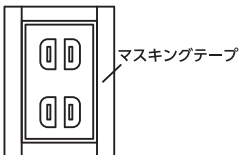
ドアの養生をする場合は、マスカーとマスキングテープを使い分けて、**ドアが開くように**しておく必要があります。
(ドアの外ワックとドアの可動部分とは別々に養生します)

トイレの便座は使用できる状態にしておく必要があります。
マスカーなどで養生しないで、不要な布などをかぶせておくとういでしょう。



◆マスキングテープを使った養生

コンセントやパイプなど、比較的細やかな部分は、マスキングテープを使って養生します。



チェック！

養生が終わったら、テープの剥がれがないか、やり残しはないか、ローラーを転がせるイメージをしながら確認しましょう。

下地処理

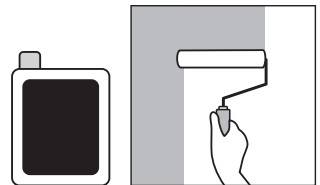
古い壁に塗る場合(ビニール壁紙、塗り壁)には、前日にアクドメール(下地処理剤)を下塗りし、乾燥させてください。**他社の下地処理剤は使用できません。**

共通の下地処理

- ・錆が発生している箇所には、錆止めを行ってください。
- ・カビが発生している場合は、アルコール等で殺菌してください。

◆ビニール壁紙の場合

- ・ビニール壁紙は剥がさず、膨れや剥がれの部分は、木工用接着剤等で貼り付け乾燥させてください。
- ・全面に「アクドメール」の原液を、中毛ローラーで塗って完全に乾燥させてください。



◆古い塗り壁(砂壁、ジュラク壁、セシイ壁、しっくい)

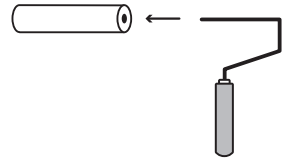
コンクリート、モルタルの場合

- ・下地が極端に弱っている場合は、霧吹き等で古壁に水を染み込ませ、柔らかくしてからゴムベラ等で完全に取り除いてください。
- ・全面に「アクドメール」を水で2倍に薄めたものを中毛ローラーで塗って乾燥させてください。
- ・再度全面に「アクドメール」の原液を、中毛ローラーで塗って完全に乾燥させてください。

塗装作業の開始

養生確認、下地確認ができれば、**汚れてもいい服に着替えて**、いよいよ塗装作業です。
服などの布に材料が付くと、完全には洗い落とせません。
また、**室内の風通しを良くしておくことを忘れずに！**

①ローラーをビニール袋から取り出し、ハンドルに差し込みます。



②MURA PAINTは、天然素材が沈んでいますので、開封前に中身が均一になるまで、よく振ってください。

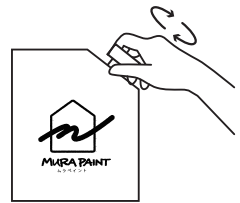
まれに、パック上部に塗料の塊ができることがあります。品質に問題はありません。塗料を出した際に塊がある場合は、あらかじめ取り除いてから施工を行ってください。

水を加えないでください。(希釈しないでください)



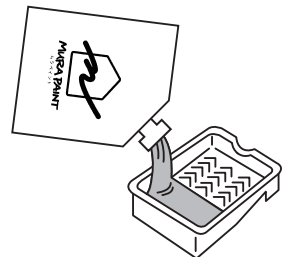
③パック部分のコックをひねって開けます。

パックを持ったまま開けると、中身が飛び出す恐れがありますので、パックを置いた状態で開けてください。



④受け皿に材料を出します。

一度に全量を出さないで、受け皿やバケツから溢れない程度に出してください。材料を追加するときは、再度コックを閉めてから、②と同様によく振ってから追加してください。



MURA PAINT 下塗りの施工方法

◆中毛ローラー等で均一に塗ってください。

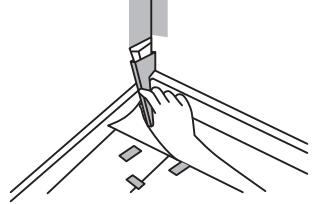
(中毛ローラーで塗れない部分はハケで塗ってください)

※標準塗布量は1回塗りで200 g / m²です。(下地によって前後します)

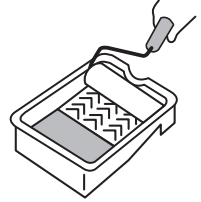
※厚く塗り過ぎないように、よく伸ばしてください。

①まず、コーナー部分や細かな部分を先に塗ります。

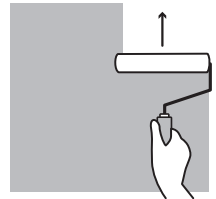
この作業はハケを使って行います。



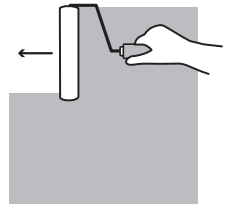
②いよいよ壁面に塗ります。ローラーに材料を含ませ、
受け皿の凸凹面で転がして垂れないようにします。
厚塗りは「ひび割れ」の原因になります。



③ローラーで材料を塗る際には、下から上にローラーを転がします。上から下に転がすと、材料が垂れてしまいますので、必ず下から上に、力を均一にかけて、ゆっくりと転がしてください。



④次にローラーを横に転がして材料が均一になるようにし、最後にもう一度**下から上**に転がして表面を整えます。



⑤MURA PAINT 下塗りは3時間以上乾燥させてください。

MURA PAINT 上塗りの施工方法

◆コテバケでランダムに模様を付けるように塗ってください。

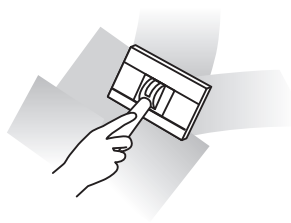
(コテバケで塗れない部分は、ハケで塗ってください)

※標準塗布量は1回塗りで200 g / m²です。(下地によって前後します)

※厚く塗り過ぎないように、よく伸ばしてください。

※MURA PAINT 下塗りが透けている部分がないか注意しながら塗ってください。

※時々、少し離れた場所から模様のバランスを確認してください。



◆仕上げ

塗った部分が乾燥する前にスムーディで

軽くランダムに押えて仕上げてください。

※スムーディで押えるタイミングは、上塗り後5～10分程度です。

※スムーディは立てすぎると仕上げがうまくいきません。

寝かせ気味にしてなでるように仕上げてください。



詳しい塗り方は
公式サイトより
ムービーを
ご確認ください



▲商品ページ

◆廃棄方法

ローラーやハケに付いた材料は新聞紙などに押し付けて取り、乾燥させてから可燃ゴミとして廃棄します。

洗浄液を河川に流すと環境汚染となりますので流さないでください。

残った材料も新聞紙などに吸い込ませて乾燥させ、可燃ゴミとして廃棄してください。

ご不明の点は、下記までお問い合わせください。

フジワラ化学株式会社 愛媛県西条市大新田94番地

フリーダイヤル 0120-64-2421 (平日8:00～17:00)

e-mail: homecare@fujiwara-chemical.co.jp